

地域内循環の“ボトル to ボトル”リサイクルを実現 「完全循環型ペットボトルリサイクルスキーム」構築の 実証実験を「産官民」連携でスタート

川崎市、日本環境設計、サミット、寺岡精工が連携

川崎市、日本環境設計株式会社（本社：神奈川県川崎市/代表取締役社長 高尾 正樹）、サミット株式会社（本部：東京都杉並区/代表取締役社長 服部哲也）、株式会社寺岡精工（本社：東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔）は、小売店・リサイクラー・メーカーのパートナーシップによる、消費者の参加を軸にしたボトル to ボトルの「完全循環型ペットボトルリサイクルスキーム」構築の実証実験を、川崎市内で実施します。7月7日（水）より半年間、市内のサミットストア3店舗に、寺岡精工のペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ（DRV-100T）」を設置し、来店客が持参した使用済みペットボトルを回収し、日本環境設計のケミカルリサイクル技術により新たなペットボトルへとリサイクルします。

■ボトル to ボトルの「完全循環型ペットボトルリサイクルスキーム」構築の実証実験

本実証実験では、プラスチックごみ問題の解決、資源の有効活用と低炭素型リサイクル実現のため、ボトル to ボトルの完全循環型リサイクルスキームの構築を目的に実施します。川崎市、同市に本社を置くリサイクル事業を手掛ける日本環境設計とそのグループ会社であるペトリファインテクノロジー、市内のスーパーマーケット「サミットストア」、ペットボトル回収機メーカーの寺岡精工が連携した「産官民」の実証実験で、店頭の回収機で使用済みペットボトルを回収し、ケミカルリサイクルにより再びペットボトルにリサイクルする「地域内循環」の取り組みとしては国内初となります。

7月7日より、川崎市内のサミットストア尻手駅前店、南加瀬店、中野島店の店頭にて寺岡精工のペットボトル減容回収機を設置し、消費者にペットボトル持参の協力を呼びかけます。回収したペットボトルは、使用済み製品の回収プログラムの運営を複数手掛けてきた日本環境設計の知見と独自のケミカルリサイクル技術「BRING Technology」※1を用いて同社グループ会社のペトリファインテクノロジーによりペットボトルに生まれ変わります。生まれ変わったペットボトルは飲料メーカーにて新たな商品となって、再び店頭で並べられることを目指します。

※1 独自の化学技術により高純度なモノマーを回収し、石油由来と同等品質のペットボトルに再生する手法

この実験では、半年間を目安にリサイクルスキームの課題を見つけ、より環境負荷が低く、物流面・コスト面でも効率のよい運用を検討し、地域内循環の“ボトル to ボトル”リサイクルによるサーキュラーエコノミーの実現を目指します。また、地域の消費者によるペットボトル回収への参画、協力を通じて、環境保護や社会に配慮した消費スタイルの確立に繋がっていきたいと考えます。



【会社概要】

日本環境設計株式会社

代表取締役社長：高尾 正樹

事業内容：リサイクルプロジェクト「BRING」の企画・運営、再生プロダクトの製造・販売

住所：神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2

URL：<https://www.jeplan.co.jp>

ペトリファインテクノロジー株式会社

代表取締役社長：伊賀 大悟

事業内容：ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂製造・販売

住所：神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2

URL：<https://www.prt.jp/>

サミット株式会社

代表取締役社長：服部 哲也

事業内容：食品スーパーマーケット及びその他生活関連商品の小売チェーン

住所：東京都杉並区永福 3-57-14

URL：<https://www.summitstore.co.jp/>

株式会社寺岡精工

代表取締役社長：山本 宏輔

事業内容：電子はかり、電子計量値付システム、自動計量包装値付機、POS システム、POP 作製システム、仕分けシステム、カウンティングスケール、自動倉庫管理システム、店舗総合情報管理システム、浄水システム、リサイクル処理機、廃棄物管理システムなどの製造、販売、保守

住所：東京都大田区久が原 5-13-12

URL：<https://www.teraokaseiko.com/>